

# 学校だより 豊かつ子



喜多方市立豊川小学校  
令和3年3月8日(月)  
発行者 校長 遠藤 信恵  
第21号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成  
◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

## ありがとう6年生！ ～鼓笛移杖式・6年生を送る会～

1日(月)、鼓笛隊移杖式と6年生を送る会を行いました。鼓笛隊移杖式では、はじめに6年生がリードする旧鼓笛隊が演奏を披露しました。これが最後となる6年生の思いが込められた迫力のあるすばらしい演奏が胸に響きました。その後、6年生から5年生に励ましの言葉とともに指揮杖や楽器、カラーガードなどが手渡され、次は6年生が見守る中で、3～5年生による新鼓笛隊が演奏を披露しました。この日のために、6年生は昼休み返上で下級生の練習に付き添って指導してくれました。そして下級生は、6年生の演奏や演技に追いつこうと一生懸命に練習に励んできました。6年生から下級生へと、豊川小学校鼓笛隊の伝統と責任、そして思いがしっかりと引き継がれた息の合ったすばらしい演奏でした。



【指揮杖と思いを受け継ぐ】



【1年生が掲げる花のアーチで入場】

よかった。優しい心をありがとう。」という歌詞が在校生の気持ちにぴったりで、胸が熱くなりました。また、5年生の力強いエールは、巣立つ6年生に勇気と元気を与えてくれました。1年生が掲げる花のアーチの下を、在校生に見送られながら退場する6年生の心の中には、幸せな気持ちとともに寂しさもあったことでしょう。卒業おめでとう！フレー、フレー、6年生！！

6年生を送る会では、各学年が6年生に楽しんでもらいたいと趣向を凝らし、クイズや長縄対決、じゃんけん大会などで感謝の気持ちを伝えました。在校生全員が心を込めて歌う「Smile Again」が体育館いっぱい響き渡ると、卒業式のような感動に包まれました。「あなたに会えて本当によかった。優しい心をありがとう。」という歌詞が在校生の気持ちにぴったりで、胸が熱くなりました。また、5年生の力強いエールは、巣立つ6年生に勇気と元気を与えてくれました。1年生が掲げる花のアーチの下を、在校生に見送られながら退場する6年生の心の中には、幸せな気持ちとともに寂しさもあったことでしょう。卒業おめでとう！フレー、フレー、6年生！！



【5年生から色紙とメダルの贈呈】

## お世話になりました ～授業参観・学年末保護者懇談会～

5日(金)、今年度最後の授業参観と保護者懇談会を開催しました。年度末のお忙しい中にもかかわらず例年以上にたくさんの保護者の皆様にご参加いただき、嬉しい気持ちでいっぱいです。



【後ろから視線を感じて…】

授業参観では、友達と一緒に一生懸命に学んでいるお子様の姿から、この1年間の成長を実感していただくことができたのではないのでしょうか。また、各学年とも学習内容がどんどん難しくなっていることも理解していただけたかと思えます。【お父さんに教わりました】



懇談会では、それぞれのご家庭での子ども達の様子や保護者の皆様の思いもお聞きすることができました。今後はさらに学校と家庭とが連携・協力し合って、子ども達の成長を支えていきたいと思えます。

## 受賞おめでとう！

◇令和2年度喜多方市小学校農業科作文コンクール

農業科賞 5年 麻生 結愛 さん  
農業科賞 3年 安部 愛理 さん



## \*お知らせ\*

11月からスクール・サポート・スタッフとして勤務されていた赤城和嘉子先生が、5日にご退職されました。大変お世話になりました。

## 中学生になる6年生へ ～心の健康教室～

2月25日(木)、喜多方二小のスクールカウンセラー小林圭子先生を講師に、心の健康教室を行いました。卒業を間近に控えた6年生に、自分の体の変化や心の変化を正しく受け入れ、中学校という新しい環境やたくさんの人との出会いの中で、お互いの違いを認め合いながら自分らしさを見つけ、よりよい自分をつくっていくことの大切さを知ってもらうことが目的です。



【「人にはそれぞれ個性があります。」】

中学生は自分を客観的に見たり自分で考えたりするようになり、人と違いがあることに不安や嫌悪感を感じるようになる時期であること。違いを自分らしさ(個性)ととらえ、お互いの個性をわかり合うためには、しっかりとコミュニケーションをとることが大切であること。失敗も大事な栄養であると考え、自分らしさを見つけていくことなど、小林先生の言葉を子ども達はうなずきながら真剣に聞いていました。中学校進学への期待と不安が日に日に高まっている6年生への、すてきな「はなむけ」になりました。

## 「コミュニティ・スクール」って、何？

令和3年度から、喜多方市の全小・中学校がコミュニティ・スクールを導入することになりました。コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

今、子ども達を取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しています。子ども達や学校が抱える課題の解決や、未来を担う子ども達の健やかな成長のためには、学校・家庭・地域の三者が知恵を出し合いながら協働し、社会総がかりで子ども達を育てていくことが不可欠であると言われています。そのための「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みがコミュニティ・スクールです。保護者会でもお話ししましたが、少し詳しくご説明いたします。

### コミュニティ・スクールって、具体的にはどんなことをするの？

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民の代表の方々から構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営に関わる基本的な方針を承認したり、教育活動への意見や具体的な支援策等を協議したりします。保護者や地域の皆様方の意見を学校運営に積極的に生かし、学校・保護者・地域が一体となって豊川小学校の子供たちに必要なことを考え、特色ある学校づくりを進めていきます。

## コミュニティ・スクールで広がる魅力とは

文科省資料より

### 子どもにとっての魅力

- 子ども達の学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。



### 教職員にとっての魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。

### 保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子ども達が育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

### 地域の人々にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。